

平成22年度 広域支援センター代表者会議

北海道リハビリテーション支援センター活動報告

北海道リハビリテーション支援センター
(報告者:菊地)

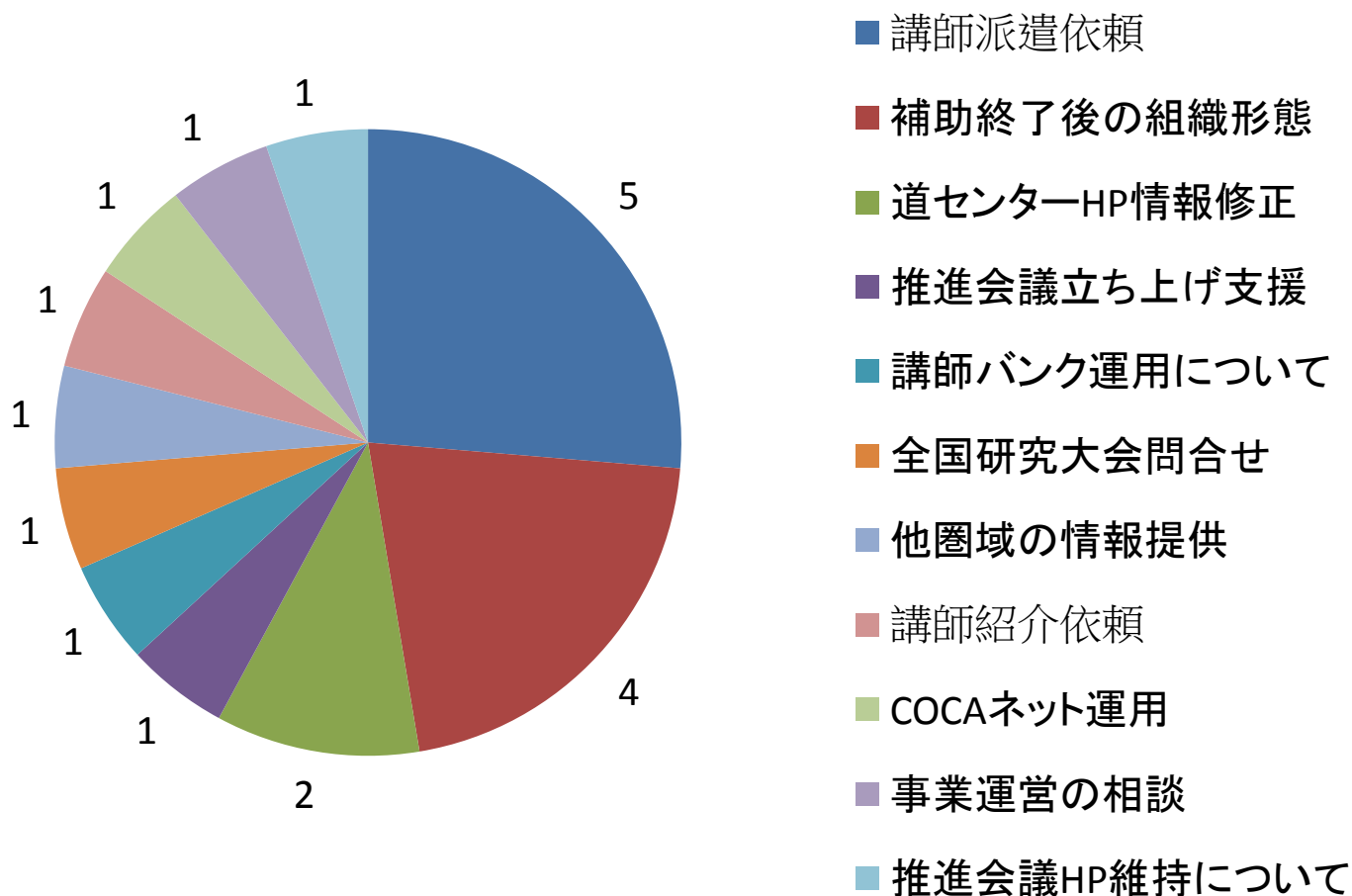
22年度の活動

1. 広域支援センター相談・支援
2. 講師派遣
3. 研修会開催(明日開催)
4. 調査・研究
5. 広域支援センターの活動把握
6. その他

1.広域支援センター相談・支援

• 相談件数19件

相談内容



1.広域支援センター相談・支援(その他)

- 未指定圏域(留萌圏域)への事業説明
- 補助金終了圏域への会議参加費支出
- 後志でのCo-Caネットの運用準備

CoCaネット説明会の実施(12/13)

参加施設:

- | | |
|-------------------|-----|
| ○医療機関 | 6か所 |
| ○介護・福祉施設、在宅サービス機関 | 3か所 |

2.講師派遣

十 勝:テーマ「地域連携」

中空知:テーマ「在宅復帰の課題」(3月予定)

3.研修会準備・開催

○準備

上川中部・東胆振・北空知・中空知の各推進会議と
検討会議を2回実施

○研修会

平成23年2月20日

特別講演

講師：竹田 匡 氏(釧路町地域包括支援センター社会福祉、
『CCL(くる)』世話人)

演題：「CCL(本音で地域連携のあり方を検討する会)の
活動報告を通して見えてきたもの」

ワーキンググループ活動報告

講師：菊地 啓介(在宅ケア事業団)

山内 克泰(岩見沢保健所健康推進課理療専門員)

演題：『まちづくり的地域リハビリテーション活動のすすめ』

4.調査・研究

- 「リハビリテーション・ケア合同研究大会山形2010」での報告

北海道リハ支援センターの活動状況 —第7報—

「北海道地域リハビリテーション広域
支援センター抱える課題」

- 北海道版地域リハ活動マニュアルの作成

北海道版地域リハ活動マニュアル

まちづくり的地域リハ活動
のすすめ

関氏(道東脳外)・山内氏(岩見沢保健所)の協力のもと、ワーキングG
立ちあげ、として平成21年度から5回の会議を実施

5. 広域支援センターの活動把握

- 道内広域支援センター活動状況の把握
→ 平成22年度活動状況調査の実施

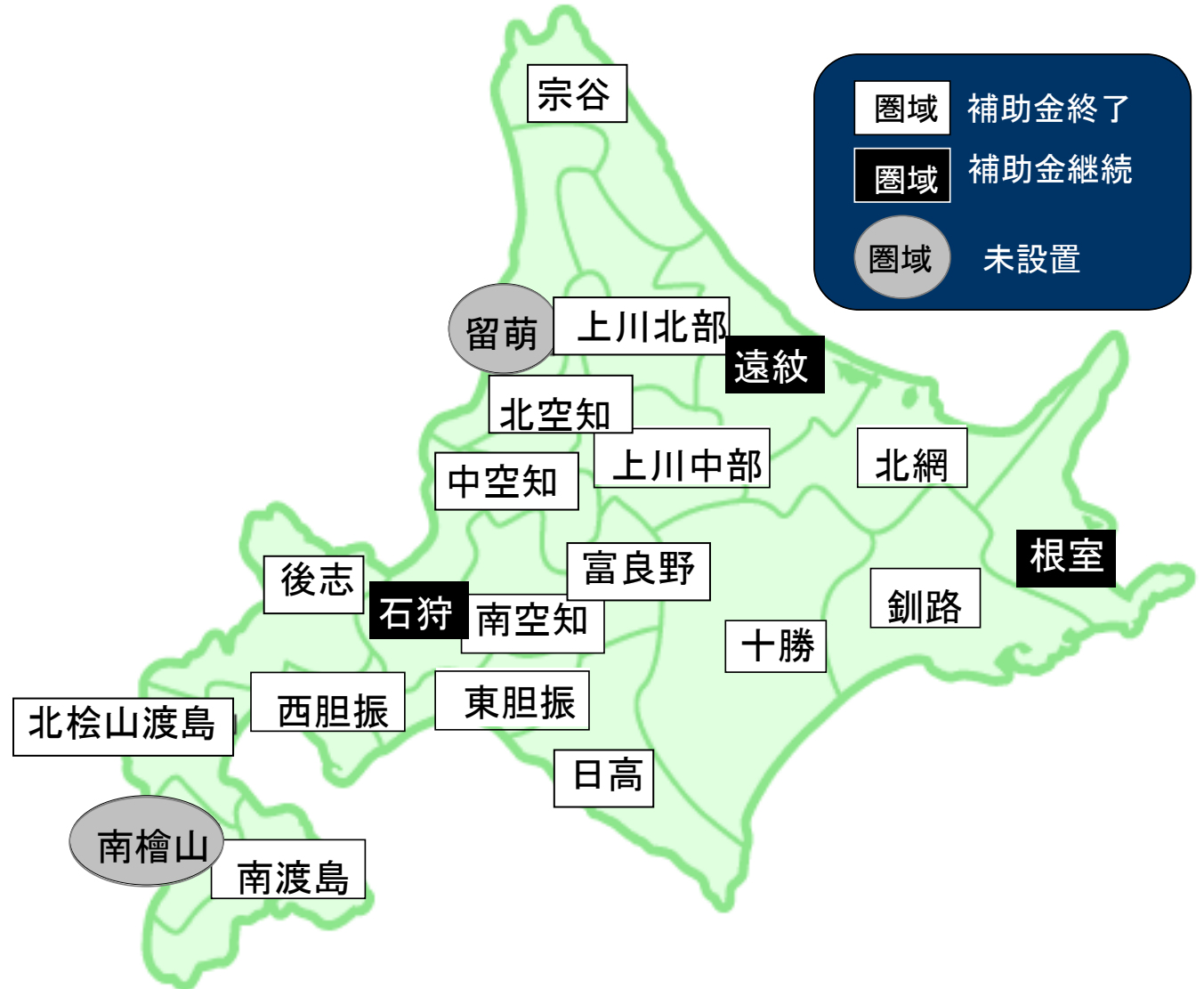
6. その他

- 『全国地域リハビリテーション支援事業協議会 研修会・全国地域リハビリテーション研究会 研究大会in札幌』の共催
- 全国地域リハビリテーション支援事業協議会 理事会出席
- 全国地域リハビリテーション支援事業センター 長会議出席

広域支援センター活動状況 (平成22年度活動状況調査から)

道内 地域リハ広域支援センター 設置状況 (h23.1月現在)

年度 (平成)	センター 指定数
14年度	4
15年度	4
16年度	5
17年度	3
18年度	2
19年度	0
20年度	0
21年度	1
22年度	2(予定)



平成21年度実績 決算比較

		21年度						20年度
		補助継続圏域 N=6			補助終了圏域 N=13			終了圏域 N=8
		平均	最大値	最小値	平均	最大値	最小値	平均
収入	補助金	¥805,251	¥825,000	¥750,507	¥0	¥0	¥0	¥0
	会費	¥0	¥0	¥0	¥132,500	¥395,000	¥0	¥201,875
	研修会	¥0	¥0	¥0	¥1,777	¥21,321	¥0	¥19,486
	その他	¥67	¥230,000	¥0	¥75,847	¥211,103	¥0	¥60,257
	合計	¥805,318	¥825,205	¥750,507	¥210,123	¥542,415	¥0	¥281,682
支出	研修会	¥408,366	¥674,660	¥60,000	¥17,150	¥70,735	¥0	¥48,233
	講師派遣	¥65,752	¥153,555	¥0	¥833	¥10,000	¥0	¥6,031
	総会・理事会	¥50,711	¥148,980	¥0	¥10,847	¥45,000	¥0	¥7,667
	その他	¥280,485	¥721,000	¥90,295	¥130,884	¥465,520	¥0	¥152,864
	合計	¥805,314	¥825,205	¥750,507	¥159,692	¥542,415	¥0	¥212,125

各種事業実施回数

	21年度						20年度
	補助継続圏域			補助終了圏域			補助終了
	平均	最大値	最小値	平均	最大値	最小値	平均
研修会	1.8	5.0	1.0	3.1	8.0	0.0	2.8
地域懇談会	1.6	7.0	0.0	1.0	4.0	0.0	1.0
各種委員会	10.5	35.0	1.0	9.5	21.0	0.0	11.4

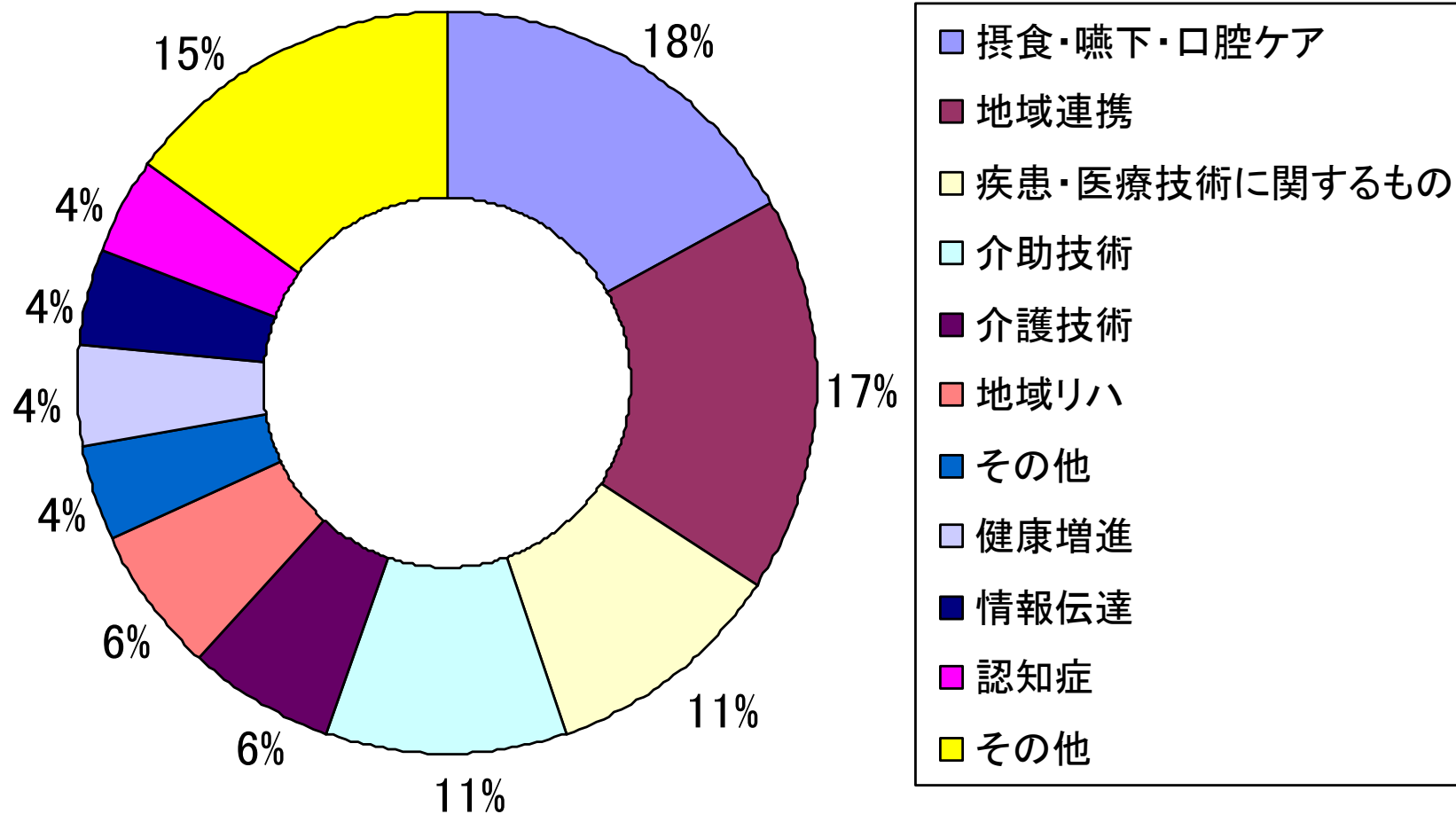
講師バンク事業2(派遣状況)

	21年度						20年度
	補助継続圏域			補助終了圏域			補助終了
	平均	最大値	最小値	平均	最大値	最小値	平均
医師	0.25	1	0	0	0	0	0
歯科医師	0.60	3	0	0.09	1	0	0
PT	0.40	1	0	0.67	3	0	0.75
OT	0.80	2	0	0.17	2	0	0.25
ST	0.50	1	0	0.18	1	0	0.38
看護師	0.25	1	0	0.09	1	0	0
薬剤師	0	0	0	0.09	1	0	0
歯科衛生士	0	0	0	0	0	0	0.13
栄養士	0.20	1	0	0	0	0	0
その他	0.50	2	0	0	0	0	0

研修会経費の比較

	補助金終了	補助金継続
謝金	¥2,500 (N= 7)	¥88,000 (N=10)
旅費	¥3,822 (N= 8)	¥38,190 (N= 9)
会場費	¥1,735 (N= 9)	¥50,334 (N= 7)

平成21年度 研修テーマ分類 (N=47)



22年度の活動方針概要

北網	研修会等への支援 講師バンクの設置と運営 実態把握・課題分析 他圏域への支援活動と協働	補助終了
上川中部	リハビリテーション手帳モデル事業の実施と結果の取りまとめ 研修会・地域懇談会の開催(2町)	補助終了
十勝	帯広市外で地域懇談会を開催 前年度実態調査の課題分析	補助終了
東胆振	地域で必要とされる活動 未加入医療機関への働きかけ	補助終了
釧路	保健・医療・福祉・介護関係者等のネットワークの構築 実態把握と課題分析 研修 相談窓口の設置	補助終了
宗谷	広域支援センターの啓蒙活動 広域支援センターの今後の活動方針を決定する	補助終了
南空知	これまでの目的の達成度、事業効果等の評価を行う 当推進会議の役割や活動の方向性、可能性を明らかにする 組織のあり方等について専門部会で検討する	補助終了

上川北部	地域リハビリの知識・技術を高めること 地域連携を深めること	補助終了
富良野	他職種による事例検討会 富良野地域の問題点に対し、地域連携窓口作成部会・医療連携調査部会・社会資源調査部会の活動継続	補助終了
北渡島 檜山	「健康づくりのための体操」普及の勉強会 活動の検証と今後の地域リハビリテーションのあり方を考察	補助終了
日高	リハビリテーションに関する研修 リハビリテーション講師バンクの設置・講師の派遣 リハビリテーションに関する住民相談機関に対する支援	補助終了
北空知	研修会を実施し関係者のネットワークづくり 会の継続に必要な資金調達の方法・会の存続など検討	補助終了
中空知	タウンミーティング 必要に応じて研修会を開催	22年度まで
根室	講演会及び研修会を実施 講師バンク事業	22年度まで
石狩	戦略的にまちづくりを推進し、多くの住民、関係機関等に本活動の理解と参加を求めていく 組織の目的・ありかたを検討し、事業が展開できることを目指す	22年度まで
遠紋	事業内容を関係機関・関係者に理解してもらう。	25年度まで

地域の医療・介護・福祉施設情報
共有のためのネットワークシステム

Co-Caネット

(Community Care Network)

仮運用中 アドレス

http://202.212.67.225/ssi-def/S-001/z_system/

北海道リハビリテーション支援センター

生き生きとした
笑顔の
お手伝い。。。

888888 人目の訪問者です。

北海道リハビリテーション支援センター
社団法人 北海道総合在宅ケア事業団

mail 札幌医科大学

地域ケア情報ネットワーク北海道 Co-Caネット

北海道版地域リハ活動マニュアル
まちづくり的地域リハ活動
のすすめ

↑

- 北海道リハビリテーション支援センターとは?
- 地域リハビリテーション広域支援センター一覧
- インフォメーション
 - トピックス
 - コラム
 - 調査・研究
- 活動報告
- リンク集
- 広域支援センター専用ページ

目的

- システムの活用で、病院・施設・事業者間の情報交換が活性化され、**地域連携が強化される。**
- 圏域を超えた広域な**情報交換を可能にする**

後志地域での

入カールールの決定

項目(病院)	入カールール
相談窓口	「部署名」、「担当者名」まで明示すること 連携室と相談室の業務や担当者が異なる場合はそれぞれに掲載！
空床・待機期間	「空床数」、「待機期間」の両方を掲載すること
対象条件	人工呼吸器、人工透析、中心静脈栄養、気管切開、喀痰吸引、人工肛門、胃ろう・経鼻栄養、インスリン注射、嚥下障害、MRSA、認知症、特定疾患の各項目に対しての受入れ可否を（可・不可・応相談）で明示すること
ベッド数	病床種別ごとに掲載すること ex) 一般〇〇床、回復期〇〇床、障害者〇〇床
入院入所までの流れ	「必要な書類」、「判定会議の開催頻度」は必ず掲載すること
リハビリ体制	「算定している体制」、「各セラピストの人数」を掲載すること
登録日(更新日)	掲載内容に変更がなくても、週1回は更新すること (最新の情報であることのアピール)

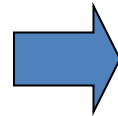
CoCaネット 修正予定事項1

現在

「医療機関」

「施設・在宅サービス機関」

の2カテゴリー



「医療機関」

「入所施設」

「通所施設」

「在宅サービス機関」

に修正予定

CoCaネット 修正予定事項2

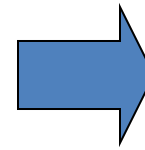
「対象条件」の項目は、

- 「人口呼吸器」
- 「人口透析」
- 「中心静脈栄養」
- 「気管切開」
- 「喀痰吸引」
- 「人工肛門」
- 「胃ろう・経管栄養」
- 「インスリン注射」
- 「嚥下障害」
- 「MRSA」
- 「認知症」
- 「特定疾患」

それぞれ独立した項目とし可・不可を入力

+

待機期間
空床数



一覧表示できるように修正

空床数 (男性)	待機期間 (男性)	空床数 (女性)	待機期間 (女性)	人口呼吸器	人工透析	中心静脈栄養	気管切開	喀痰吸引	人口肛門	胃ろう・経管栄養	インスリン注射	嚥下障害	MRSA	認知症	特定疾患
3名		0名		可	不可	可	可	可	可	可	不可	不可	不可	不可	可

ログイン

ユーザ名:

パスワード:

SiteTop 後志 医療機関

現在 10 件のデータが登録されています。

NO	ID	施設名	空床数 (男性)	待機期間 (男性)	空床数 (女性)	待機期間 (女性)	人口呼吸器	人工透析	中心静脈栄養	気管切開	喀痰吸引	人口肛門	胃ろう・経管栄養	インスリン注射	嚥下障害	MRSA	認知症	特定疾患
1	詳細	社団法人日本◎●会 ◎●会病院		3名		0名	可	不可	可	可	可	可	可	不可	不可	不可	不可	可
2	詳細	医療法人社団一視同仁会札幌・すがた医院 http://www13.ocn.ne.jp/~sugata/																
3	詳細	社会福祉法人北海道社会事業協会小樽病院																
4	詳細	社会福祉法人北海道社会事業協会余市病院																
5	詳細	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 北海道済生会西小樽病院																
6	詳細	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 北海道済生会小樽病院																
7	詳細	医療法人社団 青優会 南小樽病院	なし	3名 ……1～ 2ヶ月		9名 ……1～ 2ヶ月	不可	不可	可	可	可	可	可	可	応相 談	応相 談	応相 談	可
8	詳細	医療法人勉仁会東小樽病院																
9	詳細	医療法人ひまわり会札幌病院		数日		数日												
10	詳細	テスト医院		10名		5名	可	不可	不可	不可	不可	不可	可	可	可	可	可	可

検索

- メインメニュー
- 北海道リハビリテーション支援センター
 - 後志地域
 - 後志 医療機関
 - 後志 施設・在宅サービス機関
 - 南渡島地域(準備中)
 - 上川中部地域(準備中)
 - 十勝地域(準備中)
 - 東胆振地域(準備中)
 - 南空知地域(準備中)
 - 釧路地域(準備中)
 - 北渡島檜山地域(準備中)
 - 上川北部地域(準備中)
 - 宗谷地域(準備中)
 - 室蘭地域(準備中)

更新日時	2011.2.8 (火) 16:00
施設名 *	医療法人社団 青優会 南
空床数(男性) *	なし
待機期間(男性) *	3名 ……1～2ヶ月
空床数(女性) *	
待機期間(女性) *	9名 ……1～2ヶ月
人口呼吸器 *	不可
人工透析 *	不可
中心静脈栄養 *	可
気管切開 *	可
喀痰吸引 *	可
人口肛門 *	可
胃ろう・経管栄養 *	可
インスリン注射 *	可
嚥下障害 *	応相談
MRSA *	応相談
認知症 *	応相談
特定疾患 *	可

受け入れ可能な症状

医療区分2・3の患者様を中心にお受けします（酸素療法、中心静脈栄養、気管切開、パーキンソン病などの特定疾患、医療用麻薬による疼痛コントロールが必要な悪性腫瘍等）。

※ 現在は、医療区分1の患者様、集中的にリハビリが必要な患者様もお受けできる場合があります。

入院・入所窓口担当

地域医療連携室 医療ソーシャルワーカー 泉田智子・田中 諭・橋本 綾・深井 南
 入院患者様は病棟担当
 制、外来・訪問診療の患者様はオーダー制です。訪問リハビリの利用相談も承ります。利用者様の件で医師とのコンタクトをご希望の場合も、連携室へご相談ください。

空床数(男性) *	なし
待機期間(男性) *	3名 ……1～2ヶ月
空床数(女性) *	
待機期間(女性) *	9名 ……1～2ヶ月
人口呼吸器 *	不可
人工透析 *	不可
中心静脈栄養 *	可
気管切開 *	可
喀痰吸引 *	可
人口肛門 *	可
胃ろう・経管栄養 *	可
インスリン注射 *	可
嚥下障害 *	応相談
MRSA *	応相談
認知症 *	応相談
特定疾患 *	可

病院の特色など	<p>ださい。</p> <p>◆小樽駅前⇄当院の循環送迎バスを運行しています(外来通院の患者様、面会のご家族様向け)。 ◆老人の専門医療を考える会、日本慢性期医療協会における「診療の質」の評価に取り組んでいます。</p>
住所	小樽市潮見台1丁目5番3号
交通機関	中央バス「龍徳寺下」下車 徒歩5分
電話1	0134-21-2333 (代表)
電話2	0134-21-3003 (地域医療連携室 直通 / 月～金曜)
FAX	0134-21-2600 (代表)、0134-21-3006(地域医療連携室 直通)
E-mail	
最新情報	2月26日(土)のみなみかぜ教室のご案内: 講師は理事長・大川博樹、テーマは「認知症」です。10:00よりデビタス2階会議室(病院隣のオレンジの建物)にて開催します。参加無料、地域の皆様のお越しをお待ちしております。
診療科目	内科、老年内科、呼吸器内科、循環器内科、リハビリテーション科、外科
他科往診状況	神経内科医(2週に1回)、歯科医(毎週)
ベッド数(医療)	医療療養 131床
ベッド数(介護)	介護療養 なし (平成22年10月末をもって返上しました)
責任者	病院長 矢野 諭
設備(居室)	1人部屋:6室 2人部屋:2室 3人部屋:7室 4人部屋:25室
リハビリ体制	脳血管疾患等リハビリテーション科(I)、運動器リハビリテーション科(I) 理学療法士 12名、作業療法士 5名、言語聴覚士 3名
併設・系列施設	通所リハビリテーション「すまいる」 ※ 訪問リハビリもあります
入院・入所までの流れ	①かかりつけ医からの診療情報提供書、②フェイスシート・ADL表、 ③ご家族との面接 ⇒ ①②③がそろい次第、多職種による入院判定会議で検討(2週に1回、火曜夕方) ⇒ 正式な入院待機に登録
入院・入所限度期間	病状により異なります
保険外負担金(雑費)	1450円/日 (テレビ、冷蔵庫、タオル類・綿毛布・病衣のリース、下着の洗濯代、ティッシュペーパーなど含む)※ 生活保護の方は750円/日
保険外負担金(ベッド差額料)	
保険外負担金(病衣)	
保険外負担金(テレビ)	
保険外負担金(冷蔵庫)	
保険外負担金(洗濯)	
登録日	2011/2/8 16:08

全国の動向

都道府県リハビリテーション支援センター長会議(H22.10.21)から

13都道府県のリハ支援センター担当者が参加

- ・青森県：指針作りに着手する中で、地域包括支援センターとのかかわりをどうしていくか議論されている。また、「地域包括ケア」の議論の中で「地域リハ」の言葉が出てこないことを懸念している。
- ・岩手県：取り組みに地域格差が大きい。今年、逢坂氏の講演をきっかけに、全県的な取り組みになってきている。
- ・宮城県：広域支援センターは、保険福祉センターを指定しているが、医療の部分が弱いと感じている。また、リハ資源が地域によって偏っている。ケアマネのリハに対する知識・認識が乏しく、連携指針の見直しに取り組んでいる。
- ・茨城県：広域支援センターが1カ所減っている。高次脳機能障害の事業については、県での連携がとれていない。
- ・千葉県：県の予算は継続されている。地域包括との連携・ネットワーク作りを進めているが、地域が広く偏っている。
- ・東京都：東京都には、12の支援センターがあり、それぞれ独立して事業を実施しており横の連携がなかった。しかし、医療資源は区によってばらつきがあるために、区を超えた利用がされるためうまく機能してこなかった。2005年から共通した話題などの研修会を行っている。
- ・神奈川県：県の支援センターはあるが、広域支援センターがない。モデル地区でのモデル事業を行っている。高次脳機能障害については、県の単独事業として巡回相談・コーディネーターによる専門相談などを行っている。

- ・富山県: 4圏域に6支援センターがあるが、最近研修会などがマンネリ化しており、地域リハの考え方をどう普及していくべきかが課題である。研修事業においては、最近事例検討に取り組んでいる。事業内容の変化に伴い、主管課以外の関係課との連携など課題である。
- ・福井県: マニュアルづくりに取り組んでいる。県や市町村の高齢者施策は、縦割りのなかばらばらに行われているが、広域支援センター・県支援センターのネットほワークを有効に利用すべきである。
- ・滋賀県: 今年度から19市町村で在宅リハステーションを指定している。連携指針の見直しに取り組んでいる。
- ・京都府: 2005年から府立医大を県リハ支援センターに指定し、6圏域の広域支援センターと役割分担をしている。高次脳機能障害者支援事業を合わせて行っており相談支援が多い。
- ・広島県: 7圏域9か所の広域支援センターがあるが、予算もなく県支援センターも機能していない。また、地域リハコーディネーターも動いていない。県の主管がどこなのかもわからない状況になっている。県では改めて、地域リハ支援事業について活性化を図る予定である。
- ・長崎県: 社会資源は乏しいが、9圏域に広域支援センターを指定しており、最近は歯科医の協力体制が進んでいる。介護予防に関するマニュアル作成や、介護予防の研修、リーダー養成や地域療育にも取り組んでいる。
- ・大分県: 6圏域に11広域支援センターがあるが、県の予算は毎年5%づつカットされてきている。複数の役割を担っており、それぞれ大変だが、情報収集の場ととらえている。訪問リハ、通所リハなどの6者会議にも参加している。
- ・鳥取県: 広域支援センターへは200万ほどの補助が継続されている。

平成23年全国地域リハビリテーション 合同研修会 in えひめ

地域リハビリテーションの活性
— 社会参加への挑戦 —

大会ホームページ(参加登録) : <https://apollon.nta.co.jp/zenreha2011/>

シンポジウム: ①地域リハビリテーションの必要性と展望を語る ②復帰への道、現場の状況と声
特別講演: ①地域リハビリテーション 可能性への挑戦 ②地域リハビリテーションの活性化のために
前日イブニングレクチャー: あきらめないで! 口から食べること (7月2日 17:30~ 道後: ホテル椿館)

会 期: 平成23年7月3日(日)

会 場: 松山市総合コミュニティーセンター キャメラホール

大会長: 首藤 貴(済生会松山病院) 副大会長: 藤田正明(伊予病院)

大会事務局: 伊予病院 愛媛県伊予市八倉906-5 TEL 089-983-2222 mail:reha-ken@iyohp.jp

主 催: 全国地域リハビリテーション研究会・全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会

共 催: 愛媛県リハビリテーション研究会

後 援: 愛媛県医師会・愛媛県理学療法士会・愛媛県作業療法士会・愛媛県言語聴覚士会

大会当日研修単位申請中: 日本リハビリテーション医学会(専門医・認定医)・日本整形外科学会・日本歯科医師会(両日)

愛媛県医師会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会



テーマ：地域リハビリテーションの活性化

—社会参加への挑戦—

日 時：平成23年7月3日（日） 9：30～15：00

場 所：松山市総合コミュニティーセンター キャメリアホール

プログラム（講師の所属は裏面にあります。）

- ① 9：30～9：40 開会挨拶
- ② 9：40～10：40 シンポジウムⅠ：地域リハビリテーションの必要性と展望を語る（座長：首藤貴）
浜村明徳 「地域リハビリテーションの理念と方向」
松坂誠應 「地域リハビリテーションの展開戦略」
米満弘之 「地域リハビリテーション支援事業の具体的な取り組み」
逢坂悟郎 「次世代への地域リハビリテーションの取り組み」
- ③ 10：50～11：50 特別講演Ⅰ
首藤 貴 「リハビリテーションにおける可能性への挑戦」（座長：逢坂悟郎）
- ④ 12：00～12：30 昼食・定例総会：全国地域リハビリテーション研究会 15分
全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 15分
- ⑤ 12：40～13：40 シンポジウムⅡ「復帰への道、現場の状況と声」（座長：藤田正明）
一色啓祺 愛媛高次脳機能障害者を支援する会「あい」代表
樫尾博一 愛媛県社会就労センター協議会 代表 ワークいかた
真鍋敏朗 社会福祉法人聖風会 理事長 就労継続支援（A型）事業 野菜工房ていずい
小宮直子 フィンランドケアコンセプト教育計画検討会議メンバー
- ⑥ 13：50～14：50 特別講演Ⅱ
大田仁史 「地域リハビリテーションの活性化」（座長：木戸保秀）
- ⑦ 14：50～15：00 結びの言葉 ①松坂 誠應 ②米満 弘之

リハビリテーション・ケア合同研究大会 くまもと2011



すべての人にリハ・マインドを届けよう



会 期:平成23年10月27日(木)・28日(金)・29日(土)
会 場:ホテル日航熊本、くまもと県民交流館パレア、鶴屋ホール
大会長:山鹿眞紀夫(熊本リハビリテーション病院 副院長)

大会事務局
熊本リハビリテーション病院

〒869-1106 熊本県菊池郡菊陽町曲手760
TEL.096-232-3111
FAX.096-232-3116
E-mail:info-rehacare2011@krh.marutakai.or.jp

主催団体

日本リハビリテーション病院・施設協会
全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会
全国地域リハビリテーション研究会
全国訪問リハビリテーション研究会
全国老人デイ・ケア連絡協議会
全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会

リハビリテーション・ケア 合同研究大会2012札幌

テーマ:新しい医療介護福祉の連携をめざして
— 広げよう 繋げよう リハケアの輪 —

会期:平成24年10月11(木)～13(土)